

準備するもの

- ・テラコッタ粘土 1kg
- ・布(染色用ナプキン)
- ・粘土板
- ・粘土ヘラ
- ・水を入れる皿
- ・ビニール 2枚

題材設定の理由

モチーフが持つ造形的な美しさを発見しながら、立体の造形要素を理解する題材である。
 テラコッタ粘土は、彫刻制作の中でも比較的作業の過程が簡単であると共に、焼成後の土の変化も魅力的であると感じた。



この授業でつけたい力

関心意欲態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
粘土による制作を楽しみ、立体の表現方法に関心を持って表現や観賞に取り組むことができる力。	立体の表現方法に関心を持ち、対象の美しさなどから主題を生成し、形態の構想を練る力。	主題や表現の意図に応じて技法や材料、用具の特性を生かして制作する力。	自他の作品のよさや美しさを創造的に味わう力。

指導展開

時間	生徒の活動
導入 1	テラコッタ制作の内容について理解し、観賞する。 平面、立体の表現の違いを確認し、立体の造形要素を知る。 布を結んでモチーフをつくる。
展開 6	粗付け 大きな量感でとらえる ↓ 多角的にモチーフをとらえる ↓ 仕上げ 細部の表現に配慮する
	乾燥 窯入れ(別の時間に)・焼成
まとめ 1	窯出し・制作カード

評価の観点

関心意欲態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
粘土の質感や性質を知り、楽しみながら制作できた。	立体の表現方法に関心を持ちながら、対象の美しさを発見し、主題を設定できた。	主題や表現の意図に応じて、材料・用具の特性を生かして制作することができた。	自他の作品を見てそのよさや美しさを発見できた。
立体の表現方法に関心を持って取り組むことができた。	主題から形態の構想を練ることができた。		学んだこと、発見したことを自分の言葉で表現することができた。